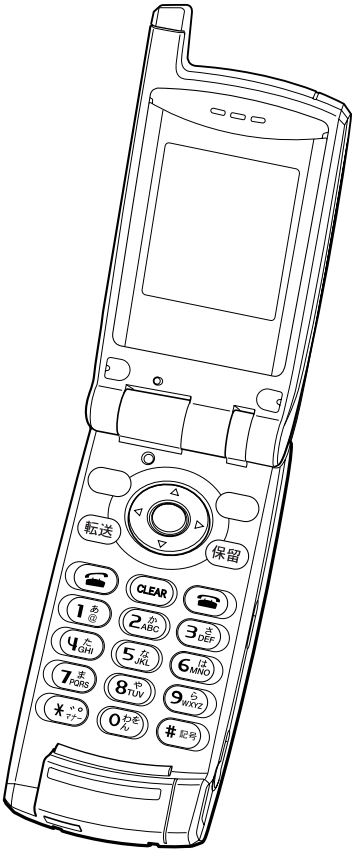
MOBILE TECHNIKA

IP携帯電話機

モビートーク

MWF-MS1

取扱説明書



目　次

はじめに 1
梱包物 1
安全上のご注意 2
お使いになる前に 12
■ 各部の名称 12
■ ディスプレイの見方 13
■ キー操作の基本 14
カーソルを移動させて選択／確定する 14
ダイレクトにカーソルを移動する（アクセスキー） 14
1つ前に戻る／操作を中止する 15
ソフトウェアキー 15
■ 電池パックを取り付ける／取り外す 16
■ 充電する 17
■ 電源を入れる／切る 19
■ 日付・時刻を合わせる 20
■ 暗証番号を変更する 21
ユーザー用暗証番号を変更する 21
管理者用暗証番号を変更する 22
■ 端末情報を確認する 23
基本機能 24
■ 電話をかける 24
前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル） 25
発信履歴を削除する 25
■ 電話を受ける 27
不在着信通知 27
着信履歴／不在着信履歴を見る 27
着信履歴／不在着信履歴を削除する 28
■ 通話中に操作する 30
受話音量を調節する 30
ミュートする 30
通話中に電話を受ける（割込着信） 30
保留する 31
転送する 32
転送する（Unscreen） 33
■ 電話帳を使う 34
電話帳に登録する 34
発着信履歴から電話帳に登録する 35
グループ名を登録する 37
電話帳を検索する 38
電話帳から電話をかける 39
電話帳を修正する 40
電話帳を削除する 41
詳細設定 42
■ 音を設定する 42
着信音を設定する 42
受話音量を調節する 43
キー操作音を設定する 44
■ バイブレータを設定／解除する ... 45
■ マナーモードを設定／解除する ... 46
■ 画面を設定する 47
バックライトを調節する 47
コントラストを調節する 47
言語を設定する 48
■ 機能ロックを設定／解除する 49
■ 初期化する 51
本体機能を初期化する 51
プロファイルを初期化する 51
電話帳を初期化する 52
発着信履歴を初期化する 53
文字を入力するには 54
■ 文字入力モードを切り替える 54
■ 文字を入力する 54
■ 文字入力画面のサブメニューで入力する 55
■ 入力した文字を訂正する 56
■ 文字入力を中止する 57
■ 漢字に変換する 58
プロファイル 59
■ プロファイルの適用 59
■ プロファイルの解除 60
■ プロファイルの編集 61
起動画面メッセージ一覧表 62
メニュー機能一覧表 63
プロファイル設定一覧表 64
故障かな？と思ったら 67
エラーメッセージ一覧表 68
仕　　様 70
お問い合わせ先 70
製品保証規定 71
製品保証書 72

はじめに

このたびは、「モビートーク」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を万一紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取替えいたします。

梱包物

以下の内容物があるかどうか、確認してください。

- 本体 1台
- 取扱説明書(本書) 1冊
- 電池パック 1個
- 充電器
  ACアダプタ 1個
  クレードル 1個

安全上のご注意

■ ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

■ ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

● 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危　険	死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警　告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注　意	傷害を負う可能性または物的損害だけが発生する可能性が想定される内容です。

禁　止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指　示	指示に基づく行為に対する強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、電話帳などの情報の消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠危 険

電話機・電池パック・充電器の取扱いについて(共通)

指 示	**指定したもの以外は使用しない。** 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液、発熱、破損、発火の原因となります。また、充電器が発熱したり故障、感電、火災などの事故の原因となります。

電池パックの取扱いについて

禁 止	**火の中に入れたり加熱したりしない。** 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
	火のそば、ストーブのそばなど高温の場所で使用したり放置したりしない。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
	端子をショートさせない。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。保管、持ち運びの際はケースに入れてください。
	強い衝撃を与えない。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
	本機にうまく接続できない場合は、無理に接続しない。 漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
	電池パックを単体で充電しない。 電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。 ・ 外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。 ・ 水や海水につけたり、濡らさない。
分 解 禁 止	**分解や改造はしない。** 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
水 濡 れ 禁 止	**濡らさない。** 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
指 示	**電池パック内部から漏れた液が目に入った場合は、ただちにきれいな水で洗い、医師の治療を受ける。** そのままにしておくと、失明などの事故の原因となります。
	電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本電話機に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込む。 間違った接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

⚠警 告

電話機・電池パック・充電器の取扱いについて(共通)

禁 止

引火、爆発の恐れのある場所では使用しない。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、引火の原因となります。

本機や電池パック、充電器を電子レンジに入れたり、電磁調理器、ホットプレートの上に置いたりしない。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、電話機、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破裂させたりする原因となります。

濡れた電話機を接続して使用しない。
発熱、発火、感電の原因となります。

本製品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かない。
本製品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となります。

強い衝撃を与えない。
電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。

充電中は電話機を不安定な場所に置かない。また、電話機本体などを布や布団でおおったり、包んだりしない。
電話機が外れたり、熱がこもったりし、火災、故障の原因となります。

本製品を次のような環境に置かない。火災・感電・故障の恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

本製品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしない。
万一、異物が入った場合は、本電話機の充電をやめ、ACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

禁　止

本製品から異常音がしたり、熱くなっている状態のままで使用しない。

そのような状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本製品の充電をやめ、ACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

電源プラグを抜く

近くに雷が発生したときは、すぐにACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜き、使用を控える。

雷による火災・感電の原因となることがあります。

指　示

所定の充電時間(約3時間)を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を止める。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。すぐにACアダプタの電源プラグを電源コンセントやソケットから抜いてください。

発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、安全を確かめた上でただちに次の作業を行う。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. 電話機の電源を切る。
3. 電池パックを電話機から取り外す。
   - 煙りが出ている場合は、吸い込まないようにしてください。また、電池パックが変色している場合は、変色した部分に触れないでください。
   - そのまま使用(充電)すると発火などの事故の原因となります。電池パックを取り外した後、お買い求めの販売店までご連絡ください。

電話機本体の取扱いについて

禁　止

歩行中に、絶対に本製品を操作したり、見たりしない。

転倒などの原因となることがあります。

本製品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しない。

破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない。

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

分解禁止

分解や改造はしない。
発熱、発火、破損の原因となります。修理などはお買い求めの販売店までご連絡ください。（電話機本体を改造することは電波法違反となります。）

電池パックの取扱いについて

禁　止

液漏れした電池パックは使用しない。
液に引火し発火、破裂の原因となります。

指　示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちにきれいな水で洗い流す。
そのままにしておくと、皮膚がかぶれるなどの原因となります。

充電器の取扱いについて

禁　止

テーブルタップや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしない。
火災・感電の原因となります。

電源コードには、延長コードは使用しない。
火災の原因となります。

ACアダプタの電源コードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用しない。
火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

指　示

指定の電源、電圧で使用する。
充電器や電池パックの発煙、発熱、破裂、火災、および感電、やけどの原因となります。指定の電圧はAC100Vです。

電源プラグに付いたほこりは拭き取る。
火災の原因となります。

電源プラグを抜く

充電器を使用しない場合は、電源プラグを、コンセントやソケットから抜く。
発熱、発火、感電の原因となります。

⚠注 意

電話機・電池パック・充電器の取扱いについて(共通)

禁 止

湿気、直射日光などは避ける。炎天下の車内など、高い温度になるところで使用したり放置したりしない。

発熱、発煙、発火、変型や故障の原因となることがありますので、次のような場所には放置しないでください。

・ 湿気やほこりの多い場所
・ 直射日光の当たる場所
・ 高温になる場所

小さなお子さまの手の届く場所には置かない。

けがなど事故の原因となることがあります。

充電できない場合や電話機の電源が入らない場合は使用しない。

漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。電話機から電池パックを取り外した後、お買い求めの販売店までご連絡ください。

次のような場所には置かない。

落ちたりして、破損、けがの原因となることがあります。

・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
・ 振動、衝撃の多い場所

本製品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かない。

発熱により火災、感電の原因となります。

電話機本体の取扱いについて

禁 止

ハンドストラップやアンテナなどを持って振り回さない。

けがなどの事故や故障の原因となることがあります。

磁気カードなどを近付けない。

キャッシュカード、クレジットカード、テレフォンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

水濡れ禁止

濡らさない。

水などの液体が入ると、発熱、感電、故障の原因となることがあります。

 指　示	**皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診療を受ける。** お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。このような場合は、本機の使用をやめ医師の診療を受けてください。

 電源プラグを抜く	**お手入れする場合は電源プラグをコンセントやソケットから抜く。** 感電の原因となることがあります。

充電器の取扱いについて

 禁　止	**充電器をコンセントやソケットから抜く場合は、電源コードを引っ張らない。** コード類の破損によって発熱し、やけどの原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
	濡れた電池パックを充電しない。 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。
	電源コードに傷をつけない。 発火、感電の原因となることがあります。
	コードを熱器具に近付けない。 コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となることがあります。
	電源コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止する。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

電池パックの取扱いについて

 禁　止	**使用済みの電池パックを一般ゴミと一緒に捨てない。** 発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは一般ゴミと一緒に捨てずに端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出すか、お買い求めの販売店までお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

 指　示	**電池パックは5℃～35℃の範囲で充電する。** この温度範囲外では、漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

取扱い上のお願い

● 共通のお願い

水をかけないでください。

・電話機本体、電池パック、充電器は防水仕様になっておりません。浴室など、湿気の多い場所ではご使用にならないでください。また、雨などがかからないように注意してください。故障の原因となります。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
これらの水漏れによる故障は保証対象外となり、修理できない場合があります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。お取扱には十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたり、変形の原因となることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触不良、通話切れ、充電不十分の原因となります。汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など)。

・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

周囲の環境(壁、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。

・本機のディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

● 電話機についてのお願い

・本電話機は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。
・極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。
・ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。
・硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは使用しないでください。本製品の寿命が短くなり、故障の原因となります。
・本製品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。
・金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。
・トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
・本製品にて通話中またはヘッドセットを耳に付けたままでのプラグの抜き差しは行わないでください。大きな雑音が発生する原因となります。
・充電中に電話機本体が熱く感じることがありますので、お気をつけください。
・クレードルに載せた状態では、着信音が聞こえにくいことがありますので、ご注意ください。

● 電池パックについてのお願い

・電池パックは消耗品です。
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
・充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
・電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度によって異なります。不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。
不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、お買い求めの販売店へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

● 充電器についてのお願い

・次のような場所では、充電しないでください。
周囲温度が5℃以下または35℃以上になるところ
湿気、ほこり、振動の多い場所
一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
・充電中、充電器が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

● 電波についてのお願い

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。またご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

・心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

(1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

(2) 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、お買い求めの販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談ください。

(3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 輸出規制

注意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

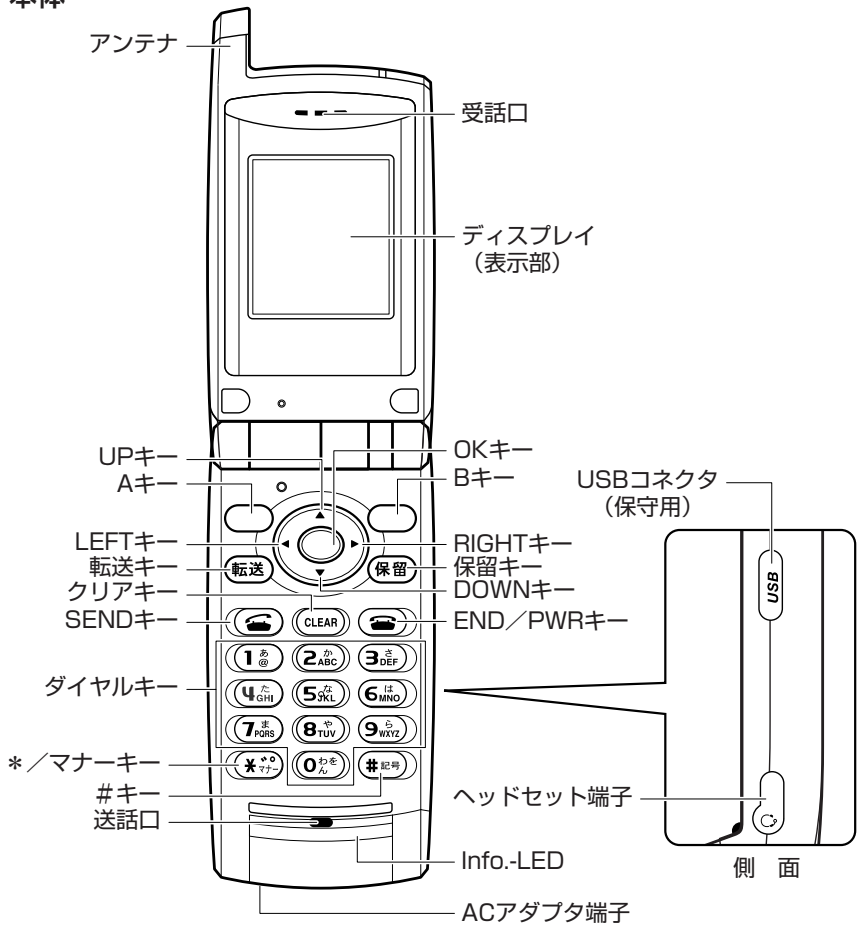
NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foregin Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

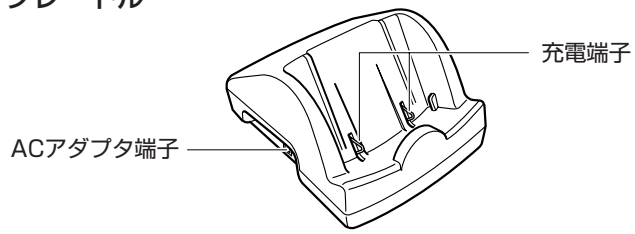
お使いになる前に

■ 各部の名称

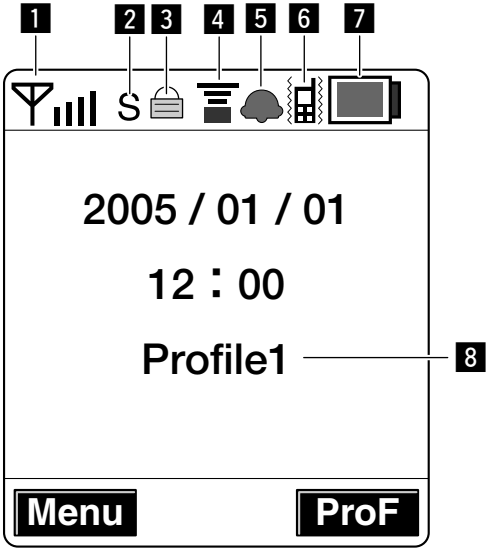
● 本体



● クレードル



■ ディスプレイの見方



1 AP感度

電波の受信レベルの目安を「」で表示します。

	圏外です。サービスエリア外にいるか、電波が届いていません。
	弱 電波が届いています。 強

2 マナー S

マナーモードに設定しているときに「S」を表示します。

3 機能ロック

機能ロックされているときに「」を表示します。

4 VoIP通信可能通知

VoIP通信が可能であることを「」で表示します。

5 着信音鳴動

着信音が鳴る設定のときに「」を表示します。

マナーモードに設定されているときは、着信音は鳴りません。

6 バイブレータ

バイブレータを設定しているときに「」を表示します。

7 バッテリー残量

バッテリー残量を表示します。

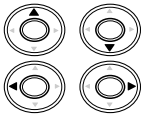
	十分残っています。
	半分程度残っています。
	残りが少なくなりました。充電してください。
	電池がなくなりました。充電を開始しないと自動的に電源が切れます。

8 プロファイル名

選択されているプロファイル名を表示します。

■ キー操作の基本

カーソルを移動させて選択／確定する

	メニュー項目を選択したり、文字入力中にカーソルを移動させるときに使用します。 押し続けても連続動作はしません。
	選択されているメニュー項目の確定や、文字入力中の候補選択の確定に使用します。 また、ディスプレイに表示されるソフトウェアキーの機能を実行するときにも使用します。

ダイレクトにカーソルを移動する（アクセスキー）

メニュー項目の左側にある数字に対応するキーを押すと、カーソルがそこへ移動します。

・ 1～9の項目へ移動するときは、対応する (1あ@) ～ (9らWXYZ) を押します。

・ 10以降の項目へ移動するときは (*゛゜マナー) に続けて対応する番号を押します。

例：

2へ移動するとき (2かABC)

18へ移動するとき (*゛゜マナー) → (1あ@) → (8やTUV)

1つ前に戻る／操作を中止する

操作画面にて (CLEAR) を押すことで、前の画面に戻ることができます。
また、(☎) を押すと、操作を中止して待受画面に戻ります。

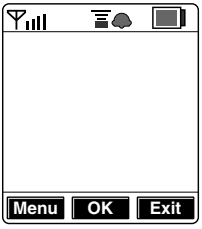
お知らせ

・表示している画面または本機の状態によっては、本機能が無効となる場合があります。

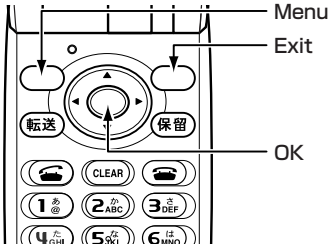
ソフトウェアキー

ディスプレイに操作の指示が表示され、対応するキー(Aキー、OKキー、Bキー)で操作することができます。

例：ディスプレイにソフトウェアキー(Menu、OK、Exit)が表示されているとき、以下のキーが対応します。



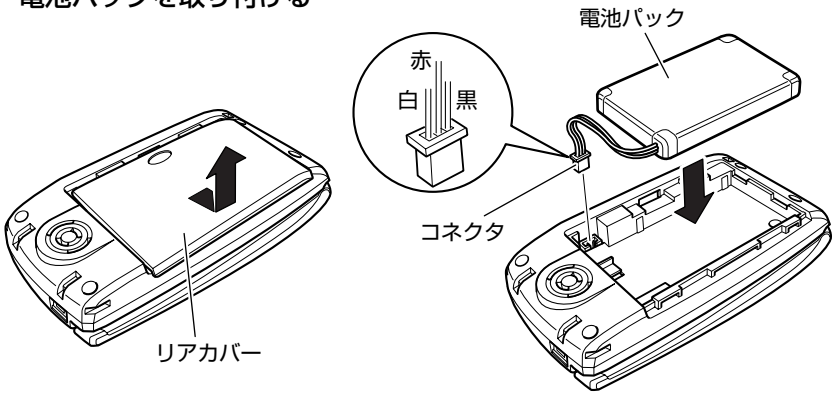
ソフトウェアキー	対応するキー
Menu	A キー
OK	OK キー
Exit	B キー



■ 電池パックを取り付ける／取り外す

・必ず専用の電池パックをご利用ください。
・電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。

● 電池パックを取り付ける



1 リアカバーを取り外します。
リアカバーを矢印方向にスライドさせ、取り外します。

2 電池パックの注意書き面を上にして図のように挿入します。
コネクタを接続し、電池パックの注意書き面を上にして、本機にはめ込みます。

3 リアカバーを取り付けます。
電池パックが本体にしっかりセットされていることを確認し、リアカバーをスライドさせ取り付けます。

● 電池パックを取り外す

1 電源が入っているときには、(☎) を3秒以上押して電源を切ります。

> ***注　意***
> *・電源が入ったまま電池パックを取り外すと、電話帳や設定などのデータが消えることがあります。また、新しい電池パックを取り付けた後も、正しく動かないことがあります。*

2 リアカバーを開け、電池パックを取り外します。
電池パックの取り付けと逆の手順で、電池パックを取り外します。

■ 充電する

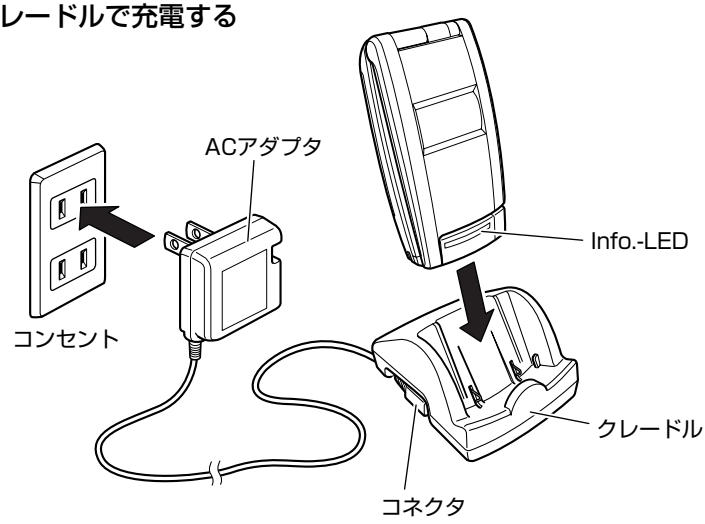
● 次の点にご注意ください

・本機をはじめてご使用になるときは、ご使用前に必ず充電してください。
　また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
・電池パックは長時間使用しない場合でも6ケ月に一度は充電してください。
・十分に充電されている状態で、何度も繰り返し充電しないでください。充電できなくなることがあります。

● 充電時間の目安

充電時間の目安は約3時間です(空の電池を本機の電源を切った状態で充電したとき)。
充電を完了しても満充電を維持するために、充電を再開することがあります。

● クレードルで充電する



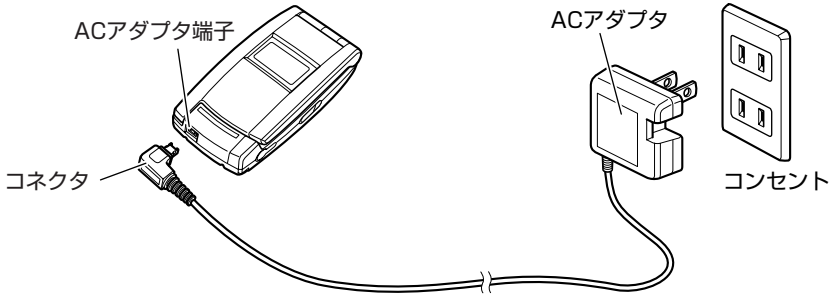
1 ACアダプタのコネクタをクレードルの端子に差し込みます。
コネクタは端子に確実に差し込んでください。コネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、一度抜いて差し込み直してください。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 電話機をクレードルに載せます。
Info.-LEDが赤色で点灯します。

4 充電が完了してInfo.-LEDが消灯したら、電話機をクレードルから外し、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜きます。

● ACアダプタで充電する



1 **ACアダプタのコネクタを本機底面のACアダプタ端子に差し込みます。**

コネクタは端子に確実に差し込んでください。コネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、一度抜いて差し込み直してください。

2 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。**

Info.-LEDが赤色で点灯します。

3 **充電が完了してInfo.-LEDが消灯したら、電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタのコネクタを本機から取り外します。**

● バッテリーアラーム

電池残量が著しく低下したとき、アラームでお知らせします。

バッテリー残量レベルが になったとき、Info.-LEDが赤色で点滅し、バッテリーアラーム音が鳴ります。

バッテリーアラームが鳴ってから、20秒以内に、自動的に電源がOFFになります。（通話中の場合、通話は終了します。）

お知らせ

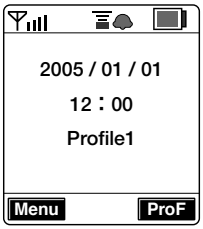
・マナーモードを設定しているとき、アラーム音は鳴りません。

■ 電源を入れる／切る

電話をかけるとき、また、電話を受けられる状態にしておくときは、電源を入れておかなければなりません。

● 電源を入れる

1 (☎) を1秒以上押します。



約5秒後に画面が表示されます。
VoIP通信可能通知(📶)アイコンが表示されれば通話が可能です。

● 電源を切る

1 (☎) を3秒以上押します。

シャットダウン画面が表示されたあと、電源が切れます。

お知らせ
・充電中は、(☎) を押しても電源は切れません。

■ 日付・時刻を合わせる

日付と時刻を設定します。
発着信履歴に日付と時刻が記録されますので、正しく設定してください。

1 (Menu) を押します。
メニュー画面が表示されます。

2 で“3. 各種設定”を選択し、 を押します。

3 で“3. 日付&時刻”を選択し、 を押します。

4 ダイヤルキーで日付と時刻を入力し、 を押します。

年(西暦下2桁)、月(2桁)、日(2桁)の順で、日付を入力します。
時(24時間制で2桁)、分(2桁)の順で、時刻を入力します。
設定できる日付は、“2020/12/31”までです。

5 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ
・本機の時計機能の有効範囲は、“2020/12/31　23 : 59”までです。

■ 暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。

ユーザー用暗証番号を変更する

ユーザー用暗証番号を変更します。

1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

3 で“4. 暗証番号”を選択し、を押します。

4 で“1. ユーザー用”を選択し、を押します。

5 ダイヤルキーで設定済みのユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

お買い上げ時、暗証番号は“0123”に設定されています。初めて暗証番号を設定する場合、“0123”を入力してください。
入力した数字は“*”で表示されます。

6 ダイヤルキーで新しいユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

7 再度、ダイヤルキーで新しいユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

8 (Exit)または を押して、操作を終了します。

管理者用暗証番号を変更する

管理者用暗証番号を変更します。

1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

3 で“4. 暗証番号”を選択し、を押します。

4 で“2. 管理者用”を選択し、を押します。

5 ダイヤルキーで設定済みの管理者用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

お買い上げ時に設定されている管理者用暗証番号は管理責任者にお問い合わせください。
入力した数字は“*”で表示されます。

6 ダイヤルキーで新しい管理者用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

7 再度、ダイヤルキーで新しい管理者用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

8 (Exit)または を押して、操作を終了します。

■ 端末情報を確認する

自分の電話番号、ファームウェアのバージョン、IPアドレス、およびMACアドレスを確認することができます。

1 (Menu)を押します。

2 で“4. 端末情報”を選択し、 を押すと、電話番号およびファームウェアのバージョンが表示されます。

プロファイルが適用されていないとき、電話番号は表示されません。
操作が終わった後、 を押すと待受画面に戻ります。

3 (Detail) を押します。

4 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、 を押すと、IPアドレスおよびMACアドレスが表示されます。

プロファイルが適用されていないとき、IPアドレスは表示されません。

5 (Exit)または を押して、操作を終了します。

基本機能

交換機側の設定により一部の機能が使用できない場合があります。
詳細については、管理責任者にお問い合わせください。

■ 電話をかける

1 電源が入っていることを確認し、AP感度(アンテナ)のアンテナが1本以上およびVoIP通信可能通知(アイコン)アイコンが表示されていることを確認します。

2 相手先番号をダイヤルします。

3 電話番号を確認してから、● または 発信 を押します。

4 お話が終わったら、(End)または 終了 を押します。

前にかけた相手にかけ直す(リダイヤル)

一度かけた電話番号がリダイヤルとして20件まで記憶されます。相手が話し中などで、もう一度かけ直すときに便利です。
20件を超えると、古い順に自動的に削除されます。

1 (Menu)を押します。

2 で"2. 発着信履歴"を選択し、を押します。

3 で"1. 発信履歴"を選択し、を押します。

待受画面から を2回押しても発信履歴に入ることができます。

4 で電話をかけたい番号を選択し、を押します。

5 または を押して電話をかけます。

6 お話が終わったら、(End)または を押します。

MEMO

・発信履歴画面から電話帳に登録できます(⇒35ページ参照)。

発信履歴を削除する

電源を切っても発信履歴は削除されません。他人に見られたくないときは、発信履歴を削除してください。

● 選択した発信履歴を削除する(1件削除)

1 (Menu)を押します。

2 で"2. 発着信履歴"を選択し、を押します。

3 で"1. 発信履歴"を選択し、を押します。

待受画面から を2回押しても発信履歴に入ることができます。

4 ◯◯ で削除したい番号を選択します。

5 ◯ (Menu)を押します。

6 ◯◯ で“2. 削除”を選択し、◉ を押します。

◉を押すと選択した発信履歴が削除されます。
削除をキャンセルする場合は、◯(Exit)を押します。

7 ◯(Exit)または ☎ を押して、操作を終了します。

● 発信履歴をすべて削除する(全件削除)

1 ◯ (Menu)を押します。

2 ◯◯ で“2. 発着信履歴”を選択し、◉ を押します。

3 ◯◯ で“1. 発信履歴”を選択し、◉ を押します。

待受画面から ◯ を2回押しても発信履歴に入ることができます。

4 ◯ (Menu)を押します。

5 ◯◯ で“3. 全削除”を選択し、◉ を押します。

◉を押すと発信履歴がすべて削除されます。
削除をキャンセルする場合は、◯(Exit)を押します。

6 ◯(Exit)または ☎ を押して、操作を終了します。

■ 電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、Info.-LEDが緑色で点滅します。

相手から電話番号が通知されると、電話番号が表示されます。
相手の電話番号が電話帳に登録されていると、名前が表示されます。

2 (Answer)または を押して、電話を受けます。

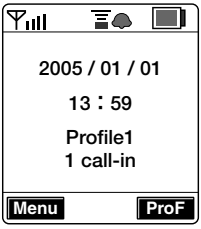
3 お話が終わったら、(End)または を押します。

お知らせ

・着信中、電話に出る前に (End)または を押すか、あるいは電話機を折り畳むと、着信を拒否することができます。

不在着信通知

電話に出なかったときは、不在着信の件数が表示されます。
このとき、Info.-LEDが緑色で点滅します。充電時は赤色とオレンジ色が交互に点滅します。



不在着信履歴画面を表示するには、待受画面で を3回押します。
不在着信履歴を参照すると通知は解除されます。

着信履歴／不在着信履歴を見る

かかってきた相手の電話番号が着信履歴および不在着信履歴として、それぞれ20件まで記憶されます。20件を超えると、古い順に自動的に削除されます。

1 (Menu)を押します。

2 で“2. 発着信履歴”を選択し、を押します。

3 ◯◯ で“2. 着信履歴”または“3. 不在着信履歴”を選択し、● を押します。

待受画面から ◯ を押して着信履歴、3回押して不在着信履歴に入ることもできます。

4 ◯◯ を押して電話番号を確認します。

電話帳に登録した電話番号の場合、名前を登録しておくとその名前が表示されます。

MEMO

・着信履歴画面および不在着信履歴画面から電話帳に登録できます(⇒35ページ参照)。

着信履歴／不在着信履歴を削除する

電源を切っても着信履歴および不在着信履歴は削除されません。他人に見られたくないときは、着信履歴／不在着信履歴を削除してください。

● 選択した着信履歴／不在着信履歴を削除する(1件削除)

1 ◯ (Menu)を押します。

2 ◯◯ で“2. 発着信履歴”を選択し、● を押します。

3 ◯◯ で“2. 着信履歴”または“3. 不在着信履歴”を選択し、● を押します。

待受画面から ◯ を押して着信履歴、3回押して不在着信履歴に入ることもできます。

4 ◯◯ で削除したい番号を選択します。

5 ◯ (Menu)を押します。

6 ◯◯ で“2. 削除”を選択し、● を押します。

● を押すと選択した着信履歴または不在着信履歴が削除されます。

削除をキャンセルする場合は、◯(Exit)を押します。

7 ◯(Exit)または ☎ を押して、操作を終了します。

● 着信履歴／不在着信履歴をすべて削除する（全件削除）

1 (Menu)を押します。

2 で“2. 発着信履歴”を選択し、を押します。

3 で“2. 着信履歴”または“3. 不在着信履歴”を選択し、を押します。

待受画面から を押して着信履歴、3回押して不在着信履歴に入ることもできます。

4 (Menu)を押します。

5 で“3. 全削除”を選択し、を押します。

を押すと着信履歴または不在着信履歴がすべて削除されます。

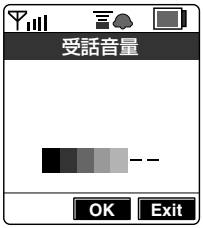
削除をキャンセルする場合は、(Exit)を押します。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

■ 通話中に操作する

受話音量を調節する

通話中に ◯ ◯ で音量を選択し、● を押して受話音量を調節します。



ミュートする

通話中に ● (Mute)を押すと、音声をミュートすることができます。

ミュートを解除するには、● (Cancel)を押します。

通話中に電話を受ける(割込着信)

通話中に別の着信を受けると、割込着信音が聞こえ、着信に応答することができます。
割込着信中、別の割り込み着信があっても、応答はできません。

1 通話中に別の着信を受けると、2画面表示に切り換わります。

このとき、通話音声に割り込み着信音が入ります。

2 で通話中の相手を選択し、(保留) を押します。

通話中の会話が保留されます。

3 で後から着信した相手を選択し、( ) (Answer)または (☎) を押して応答します。

● 2画面中のキー操作

割り込み着信等で2画面表示しているときは、フォーカス(青い画面)のある相手に対してキー操作が有効となります。
フォーカスを切り換えるには、 を押します。

保留する

通話中の電話を保留することができます。

1 通話中に (保留) を押すと通話を保留することができます。

( )(Menu)から“2. 保留”を選択しても保留することができます。

このとき、保留された側は保留画面に切り換わります。

2 保留を解除するには、保留 または (Unhold)を押します。

保留された側からは、保留を解除できません。

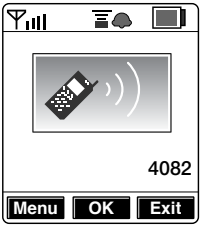
転送する

かかってきた電話を、他の端末へ転送することができます。

1 通話中、電話を転送したいときは 保留 を押します。

(Menu)から“2. 保留”を選択しても保留することができます。

2 転送したい相手の電話番号をダイヤルし、 または を押します。



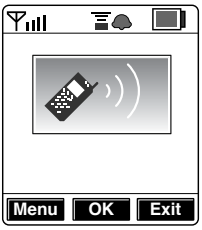
3 転送したい相手が応答したら (転送) を押します。

4 かけてきた相手と転送したい相手との通話が始まれば、転送は完了します。

転送する(Unscreen)

転送先と会話せずに、かかってきた電話を転送することができます。

1 通話中、電話を転送したいときは (転送) を押します(通話が保留になります)。



(Menu)から"1. 転送"を選択しても保留することができます。

2 転送したい相手の電話番号をダイヤルし、● または (☎) を押します。

3 転送したい相手が応答すれば、転送は完了します。

■ 電話帳を使う

電話帳として100件まで、それぞれに名前とフリガナ、電話番号、メモ、グループ名をつけて登録できます。

電話帳に登録する

電話帳1件には、電話番号が3ヶ所まで登録することができます。

1 (Menu)を押します。

2 で“1. 電話帳”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても電話帳に入ることができます。

3 (Menu)を押します。

4 で“3. 新規作成”を選択し、 を押します。

登録済み件数が0件のときは、「グループ名編集」と「新規作成」しかメニューに表示されません。

5 で“1. 名前”を選択し、 を押します。

6 名前を入力して、 を押します。

相手の名前や会社名などを漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
名前は、全角30文字／半角60文字まで入力できます。

7 ヨミの内容を確認して、 を押します。

ヨミが間違っている場合は、ヨミを修正してください。
ヨミは、半角100文字まで入力できます。

8 電話番号を入力し、 を押します。

電話番号は最大28ケタまで入力できます。
電話番号は、TEL 1～TEL 3まで3つの電話番号が入力できます。

9 メモを入力し、 を押します。

メモは、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
メモは、全角100文字／半角200文字まで入力できます。

10 登録するグループを選択し、 を押します。

「Group 1」～「Grpup 10」から選びます。
グループ名は変更することができます(⇒37ページ参照)。
すでに、グループ名を登録している場合は、そのグループ名を表示します。

11 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お願い

・万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

発着信履歴から電話帳に登録する

発信履歴、着信履歴および不在着信履歴から電話帳に登録することができます。

1 (Menu)を押します。

2 で“2. 発着信履歴”を選択し、 を押します。

3 で“1. 発信履歴”、“2. 着信履歴”または“3. 不在着信履歴”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても発着信履歴に入ることができます。

4 ◎◎で電話帳に登録したい電話番号を選びます。

5 (Menu)を押し、◎◎で“1. 電話帳登録”を選択し、●を押します。

6 名前を入力して、● を押します。
相手の名前や会社名などを漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
名前は、全角30文字／半角60文字まで入力できます。

7 ヨミの内容を確認して、● を押します。
ヨミが間違っている場合は、ヨミを修正してください。
ヨミは、半角100文字まで入力できます。

8 追加する電話番号があるときは、電話番号を入力し、● を押します。
電話番号は最大28ケタまで入力できます。
電話番号は、TEL 1～TEL 3まで3つの電話番号が入力できます。

9 メモを入力し、● を押します。
メモは、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
メモは、全角100文字／半角200文字まで入力できます。

10 登録するグループを選択し、● を押します。
「Group 1」～「Grpup 10」から選びます。
グループ名は変更することができます(⇒37ページ参照)。
すでに、グループ名を登録している場合は、そのグループ名を表示します。

11 (Exit)または ☎ を押して、操作を終了します。

グループ名を登録する

電話帳を「会社」や「友だち」のようにお付き合いごとにグループ分けできます。
グループ名が登録できるのは、「Group 1」から「Group 10」です。

1 (Menu)を押します。

2 で“1. 電話帳”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても電話帳を表示することができます。

3 (Menu)を押し、 で“2. グループ名編集”を選択し、 を押します。

電話帳の登録済み件数が0件のときは、「グループ名編集」と「新規作成」しかメニューに表示されません。

4 で変更したいグループ名を選択し、 を押します。

5 グループ名を書き換えて、 を押します。

区別しやすい名前や会社名などを漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
グループ名は、全角8文字／半角16文字まで入力できます。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

電話帳を検索する

登録した電話帳は、名前、電話番号、グループの3つの検索方法で呼び出すことができます。

1 (Menu)を押します。

2 で“1. 電話帳”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても電話帳を表示することができます。

3 (Menu)を押します。

4 で“1. 検索”を選択し、 を押します。

電話帳画面から (Find)を押しても検索画面に入ることができます。

5 で検索する方法を選択し、 を押します。

6 電話帳を検索します。

名前検索の場合

名前(ヨミ)を入力してから を押します。

電話番号検索の場合

電話番号を入力してから を押します。

グループ検索の場合

または を押すと、グループを選択できます。

7 で検索結果から目的の名前を選びます。

電話帳から電話をかける

電話帳に登録されている番号へ発信します。

● 登録されている番号を指定して電話をかける

1 (Menu)を押します。

2 で“1. 電話帳”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても電話帳を表示することができます。

3 で電話をかけたい相手を選択し、 を押します。

4 で電話番号を選択し、(Dial)または を押します。

5 発信する電話番号を確認し、 または を押します。

● 登録されている優先的な番号へ電話をかける

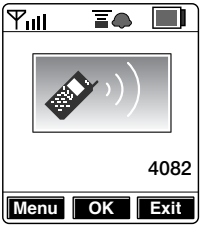
1件の電話帳に複数の電話番号の登録があるときは、TEL 1、TEL 2、TEL 3の順で登録のある電話番号へ発信します。

1 (Menu)を押します。

2 で“1. 電話帳”を選択し、 を押します。

待受画面から を押しても電話帳を表示することができます。

3 で、電話をかけたい相手を選択し、 を押します。



Menuから“5.発信”を選択しても発信することができます。

4 発信する電話番号を確認し、 または を押します。

電話帳を修正する

電話帳に登録されている内容を修正します。

1 修正したい電話帳を表示させます。

2 で修正したい項目を選択し、 を押します。

「電話帳に登録する」と同様の手順で、必要な項目を修正します(⇒34ページ参照)。

3 (Exit)または を押して、操作を終了します。

電話帳を削除する

登録された電話帳の内容を一括または選択した電話帳のみを削除します。

● 選択した電話帳を削除する

1 削除したい電話帳を選択します。

2 (Menu)を押します。

3 で“4. 削除”を選択し、 を押します。

4 削除するときは、 を押します。

を押すと選択した電話帳が削除されます。
キャンセルする場合は、(Exit)を押します。

5 を押して、操作を終了します。

● 電話帳を一括で削除する

電話帳を一括で削除するには、電話帳の初期化を行います(⇒52ページ参照)。

詳細設定

■ 音を設定する

着信音を設定する

電話がかかってきたときに鳴る着信音を選択します。

1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

3 で“2. 音&バイブ”を選択し、を押します。

4 で“2. 着信音”を選択し、を押します。

5 で使用する着信音を選択し、を押します。

「着信音1～4」を選択すると、着信音が設定され「」が表示されます。設定されるとその着信音が鳴ります。

「着信音なし」を選択すると、「」の表示が消え着信音は鳴りません。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ
・お買い上げのときは「着信音1」に設定されています。

受話音量を調節する

通話時の相手の声の音量を調節します。

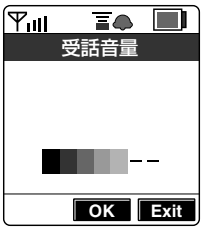
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

3 で“2. 音&バイブ”を選択し、を押します。

4 で“4. 受話音量”を選択し、を押します。

5 または を押して「音量」を調節し、を押します。



レベル1(最小)～レベル7(最大)の7段階で調節できます。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ
・お買い上げのときは「レベル5」に設定されています。

MEMO
・通話中に または を押しても受話音量を調節できます(⇒30ページ参照)。

キー操作音を設定する

キーを押したときの確認音の有無を選択します。

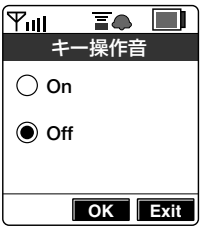
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

3 で“2. 音&バイブ”を選択し、を押します。

4 で“5. キー操作音”を選択し、を押します。

5 で“On”または“Off”を選択し、を押します。



6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ

・お買い上げのときは「Off」に設定されています。

・「On」に設定されていても、通信中はキーを押したときに確認音は鳴りません。

・また、マナーモードに設定されているときにも、確認音は鳴りません。

■ バイブレータを設定／解除する

電話がかかってきたときに、バイブレータを動作させるかを設定します。

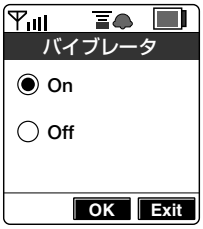
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、 を押します。

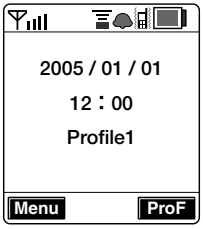
3 で“2. 音&バイブ”を選択し、 を押します。

4 で“3. バイブレータ”を選択し、 を押します。

5 で“On”または“Off”を選択し、 を押します。



6 (Exit)または を押して、操作を終了します。



“On”を選択するとバイブレータが設定され、「📳」が表示されます。設定されるとバイブレータが約1秒間振動します。
“Off”を選択するとバイブレータが解除され、「📳」の表示が消えます。

お知らせ

・お買い上げのときは「Off」に設定されています。

■ マナーモードを設定／解除する

本機からの音を鳴らさないようにします。

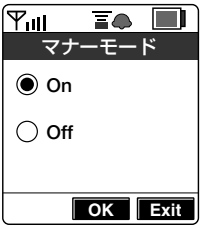
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、を押します。

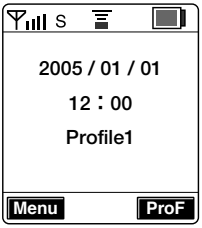
3 で“2. 音&バイブ”を選択し、を押します。

4 で“1. マナーモード”を選択し、を押します。

5 で“On”または“Off”を選択し、を押します。



5 (Exit)または を押して、操作を終了します。



“On”を選択するとマナーモードに設定され、「S」が表示されます。
“Off”を選択するとマナーモードが解除され、「S」の表示が消えます。

お知らせ

・お買い上げのときは「Off」に設定されています。

・マナーモードに設定しても、バイブレータの動作はその設定状態に従います(⇒45ページ参照)。

MEMO

・待受画面から(✱)を1秒以上押してもマナーモードを切り換えることができます。

■ 画面を設定する

バックライトを調節する

ディスプレイのバックライトの明るさを調節します。

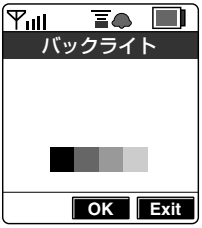
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、 を押します。

3 で“1. ディスプレイ”を選択し、 を押します。

4 で“1. バックライト”を選択し、 を押します。

5 または を押して明るさを調節し、 を押します。



レベル0(無灯)～レベル4(明るい)の5段階で調節できます。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ

・お買い上げのときは「レベル4」に設定されています。

コントラストを調節する

ディスプレイ表示の濃淡を調節します。

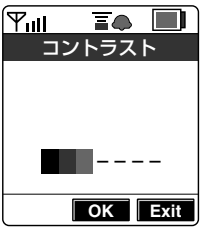
1 (Menu)を押します。

2 で“3. 各種設定”を選択し、 を押します。

3 で“1. ディスプレイ”を選択し、 を押します。

4 で“2. コントラスト”を選択し、 を押します。

5 ◀ ▶ または ▲ ▼ を押して濃淡を調節し、● を押します。



レベル0(濃い)～レベル7(薄い)の8段階で調節できます。

6 (Exit)または を押して、操作を終了します。

お知らせ
・お買い上げのときは「レベル3」に設定されています。

言語を設定する

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 (Menu)を押します。

2 ▲ ▼ で“3. 各種設定”を選択し、● を押します。

3 ▲ ▼ で“5. 言語設定”を選択し、● を押します。

4 ▲ ▼ で表示する言語を選択し、● を押します。

5 言語を選択すると待受画面に戻ります。

お知らせ
・お買い上げのときは「日本語」に設定されています。

■ 機能ロックを設定／解除する

他人からの不正な本体使用を防止することができます。機能ロックがかかった状態で操作を行なうには、必ずユーザー用暗証番号を入力してから行ないます。

注　意

- *機能ロックを解除するためには、ユーザー用暗証番号の入力が必要ですので、暗証番号を忘れないようにしてください。*
- *また安全のため、暗証番号はお買い上げ時のままにはしないで、「ユーザー用暗証番号を変更する」を参照し、設定してください(⇒21ページ参照)。*

● ロックする

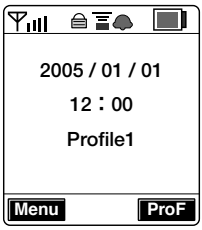
1 (Menu)を押します。

2 で“5. ロック/解除”を選択し、 を押します。

3 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、 を押します。

入力した数字は“＊”で表示されます。

4 機能ロックがかかり、待受画面で「🔒」が表示されます。



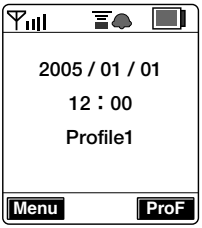
● ロックを解除する

1 (Menu)を押します。

2 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

入力した数字は“＊”で表示されます。

3 で“5. ロック/解除”を選択し、を押します。



機能ロックが解除され、「」の表示が消えます。

■ 初期化する

登録された電話帳の内容を一括で削除または本機の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

本体機能を初期化する

1 (Menu)を押します。

2 で“7. 初期化”を選択し、 を押します。

3 で“1. 本体機能”を選択し、 を押します。

4 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、 を押します。

を押すと設定されている内容が初期化されます。
キャンセルする場合は、(Exit)を押します。

5 初期化が終了すると、待受画面に戻ります。

お知らせ

・本体機能の初期化を行うと、以下の設定が初期化されます。
バックライト、コントラスト、マナーモード、着信音、バイブレータ、受話音量、キー操作音、日付&時刻、暗証番号(ユーザー用)、言語設定、機能ロック

プロファイルを初期化する

1 (Menu)を押します。

2 で“7. 初期化”を選択し、 を押します。

3 で“2. プロファイル”を選択し、 を押します。

4 ダイヤルキーで管理者用暗証番号(4桁)を入力し、● を押します。

●を押すとすべてのプロファイルが初期化されます。
キャンセルする場合は、(Exit)を押します。

5 初期化が終了すると、待受画面に戻ります。

電話帳を初期化する

1 (Menu)を押します。

2 ○ ○ で“7. 初期化”を選択し、● を押します。

3 ○ ○ で“3. 電話帳”を選択し、● を押します。

4 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、● を押します。

●を押すと電話帳がすべて削除されます。
キャンセルする場合は、(Exit)を押します。

5 初期化が終了すると、待受画面に戻ります。

お知らせ

・電話帳の初期化を行うと、電話帳に登録されているすべてのデータが削除されます。

発着信履歴を初期化する

1 (Menu)を押します。

2 で“7. 初期化”を選択し、を押します。

3 で“4. 発着信履歴”を選択し、を押します。

4 ダイヤルキーでユーザー用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。

を押すと発着信履歴がすべて削除されます。
キャンセルする場合は、(Exit)を押します。

5 初期化が終了すると、待受画面に戻ります。

文字を入力するには

ダイヤルキーを使って文字を入力することができます。
各ダイヤルキーは、入力モードを切り替えることによって文字の種類を選ぶことができます。

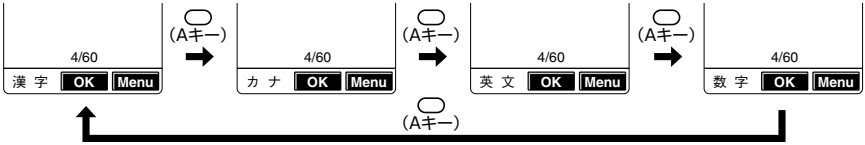
■ 文字入力モードを切り替える

文字の入力中に入力モードを切り替えて希望する文字を入力します。

・漢字ひらがな入力モード ..... 漢字、ひらがな、カタカナ、記号を全角で入力します。画面の左下に「漢字」が表示されます。
・カナ入力モード ..... 半角のカタカナを入力します。画面の左下に「カナ」が表示されます。
・英字入力モード ..... 半角の英字、記号を入力します。画面の左下に「英文」が表示されます。
・数字入力モード ..... 半角の数字、記号を入力します。画面の左下に「数字」が表示されます。

1 (Aキー)を押して入力モードを切り替えます。

(Aキー)を押すたびに入力モードが切り替わります。



■ 文字を入力する

文字入力が可能な画面のとき、ダイヤル(1 あ@ ～ 0 わを ん)キー、*マナー キー、#記号 キーで文字を入力することができます。

	漢　字	カ　ナ	英　文	数 字
1 あ@	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@./:~-_	1
2 かABC	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	abcABC	2
3 さDEF	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	defDEF	3
4 たGHI	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghiGHI	4
5 なJKL	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jklJKL	5
6 はMNO	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mnoMNO	6
7 まPQRS	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrsPQRS	7
8 やTUV	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuvTUV	8
9 らWXYZ	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyzWXYZ	9
0 わをん ー	わをんゎー	ﾜﾜﾝ	';(),"&¥[スペース(半角)]	0
*マナー	(濁点、半濁点切替え)	ﾞﾟ	(未使用)	*
#記号	[スペース(全角)]ー , . ! ?	[スペース (半角)]-,.!?	[スペース(半角)]-,.!?	#

同じキーの文字を続けて入力するときは、◎でカーソルを移動してから入力します。

■ 文字入力画面のサブメニューで入力する

文字入力中に(Menu)を押します。

・漢字ひらがな入力モード

・カナ／英字／数字入力モード

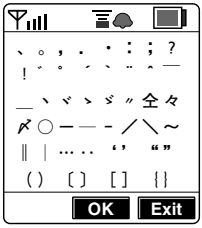
● 記号を入力する

文字の入力中に半角または全角記号を入力することができます。

1 文字入力画面で(Menu)を押します。

2 で“全角記号”または“半角記号”を選択し、 を押します。

3 で希望の文字を選択し、 を押します。



● 区点コードで入力する

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力することができます。

1 文字入力画面で(Menu)を押します。

2 で“区点コード”を選択し、 を押します。

3 ダイヤルキーで4桁の区点コードを入力し、 を押します。

を押すと、選択した文字がカーソル位置に挿入されます。

■ 入力した文字を訂正する

入力した文字を訂正することができます。

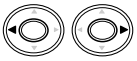
● 文字を削除する

1 で削除したい文字の1つ右の文字に点滅カーソルを移動させます。

2 CLEAR を押すと、点滅カーソルの左側の1文字が削除されます。

点滅カーソルが左端にある場合は、点滅カーソルの位置の1文字が削除されます。

● 文字を挿入する

1  で挿入したい位置の右側の文字に点滅カーソルを移動させます。

2 文字を入力します。

入力した文字は点滅カーソルの左側に挿入されます。

■ 文字入力を中止する

文字入力を中止することができます。

1 (CLEAR) で入力した文字をすべて消します。

2 もう一度 (CLEAR) を押します。

3 を押します。

文字入力画面のサブメニューから“1. 編集中断”を選択しても、中止することができます。

■ 漢字に変換する

入力した文字を漢字に変換することができます。

1 (Aキー)を押して入力モードを漢字に切り替えます。

2 ダイヤル(1 あ@ ～ 0 わを ん)キー、＊ マナー キー、# 記号 キーで読みを入力します。

3 を押して変換候補を選びます。

4 変換する文節を変更するときは を押します。

5 変換候補が複数あるときは、 を押すと一覧が表示されます。

プロファイル

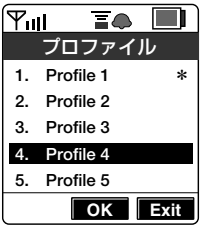
本機では、様々な無線LANアクセスポイントに対応するためにプロファイルを5件まで設定することができます。
利用しているアクセスポイントのプロファイル名は、待受画面に表示されます。

■ プロファイルの適用

登録されているプロファイルを選択して適用します。

1 待受画面で、(ProF)を押します。

2 で利用するプロファイルを選択し、を押します。



表示されるプロファイルは、登録されているプロファイル名が表示されます。
現在適用されているプロファイル名の右に“＊”が表示されます。

3 で“2. 適用”を選択し、を押します。

待受画面で適用されたプロファイル名が表示されます。

■ プロファイルの解除

適用されているプロファイルを解除します。

1 待受画面で、(ProF)を押します。

2 で適用されているプロファイルを選択し、を押します。

現在適用されているプロファイル名の右に“*”が表示されます。

3 で“3. 解除”を選択し、を押します。

■ プロファイルの編集

アクセスポイントに適したプロファイルの設定内容を変更します。
プロファイルの編集では、選択したプロファイルの下記の項目を設定します。

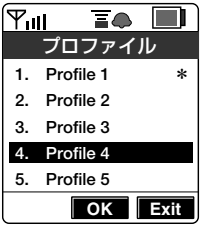
1. Profile name ： プロファイルの名称を設定
2. Net setting ： IPネットワークに関する設定
3. WiFi setting ： 無線LAN環境と接続設定および暗号化に関する設定
4. SIP setting ： SIP通信に関する設定
5. Advanced ： SIP通信に関する高度な設定

お知らせ

・設定に関する詳細については、管理責任者にお問い合わせください。

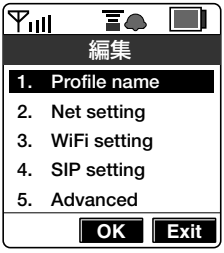
1 待受画面で、(ProF)を押します。

2 で編集するプロファイルを選択し、を押します。



3 で“1. 編集”を選択し、を押します。

4 ダイヤルキーで管理者用暗証番号(4桁)を入力し、を押します。



各項目については、「プロファイル設定一覧表」を参照してください(⇒64ページ参照)。

起動画面メッセージ一覧表

表示メッセージ	内　容
Start Connecting	接続開始
Associating	無線LAN接続確立中
802.1X trying	IEEE 802.1X認証中
DHCP trying	IPアドレス自動割り当て中
IP OK	IPアドレス割り当て完了
Registering	レジストレーション中
Registration OK	レジストレーション完了
802.1X failed	IEEE 802.1X認証失敗
DHCP failed	IPアドレス自動割り当て失敗(DHCP有効のとき)
Set IP failed	IPアドレス設定失敗(DHCP無効のとき)
Regist failed	レジストレーション失敗

メニュー機能一覧表

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
電話帳			電話帳機能を使います。	34
発着信履歴	発信履歴		発信履歴を確認します。	25
	着信履歴		着信履歴を確認します。	27
	不在着信履歴		不在着信履歴を確認します。	27
各種設定	ディスプレイ	バックライト	ディスプレイのバックライトの明るさを調節します。	47
		コントラスト	ディスプレイ表示の濃淡を調節します。	47
	音&バイブ	マナーモード	マナーモードの設定/解除をします。	46
		着信音	電話がかかってきたときに鳴る着信音を選択します。	42
		バイブレータ	バイブレータの設定/解除をします。	45
		受話音量	通話時の相手の声の音量を調節します。	43
		キー操作音	キーを押したときの確認音の有無を選択します。	44
	日付&時刻		日付・時刻を設定(変更)します。	20
	暗証番号	ユーザー用	ユーザー用暗証番号を設定(変更)します。	21
		管理者用	管理者用暗証番号を設定(変更)します。	22
	言語設定		メニューやメッセージの表示言語を選択します。	48
端末情報			自分の電話番号などの端末情報を確認します。	23
ロック/解除			機能ロックを設定/解除します。	49
初期化	本体機能		プロファイル以外のメニュー内容を初期値に戻します。	51
	プロファイル		プロファイルの内容を初期値に戻します。	51
	電話帳		電話帳の内容をすべて削除します。	52
	発着信履歴		発着信履歴の内容をすべて削除します。	53

プロファイル設定一覧表

項　目			内　容	設定範囲	初期値
1. Profile name			プロファイル名の表示・編集	半角20文字(全角10文字)以内(かな漢字、カナ、英数字、記号)	“Profile1” “Profile2” “Profile3” “Profile4” “Profile5”
2. Net setting			ネットワーク設定に関する内容の表示・編集		
	1. DHCP enable		DHCPを有効にするか無効にするか選択	On、Off	On
	2. IP address		固定設定するIPアドレスの表示・編集(DHCP機能で通知されないときに有効)	0.0.0.0～255.255.255.255	0.0.0.0
	3. Net mask		サブネットマスクの表示・編集(DHCP機能で通知されないときに有効)		255.255.255.0
	4. Gateway		デフォルトゲートウェイアドレスの表示・編集(DHCP機能で通知されないときに有効)		0.0.0.0
	5. DNS1		DNSアドレス・ホスト名(プライマリ)の表示・編集(DHCP機能で通知されないときに有効)		0.0.0.0
	6. DNS2		DNSアドレス・ホスト名(セカンダリ)の表示・編集(DHCP機能で通知されないときに有効)		0.0.0.0
3. WiFi setting			WiFi 設定に関する内容の表示・編集		
	1. Network name		無線LAN・ネットワーク名(SSID)の表示・編集	半角32文字以内(英数字、半角記号)	“ANY”
	2. Auth method		認証方式の表示・選択	OPEN system、Shared Key	OPEN system
	3. Encryption meth		暗号化方式の表示・選択	No encryption、WEP	No encryption
	4. Selected key		優先使用するWEPキーの表示・選択	WEP key1、WEP key2、WEP key3、WEP key4	WEP key1
	5. Encryption key		Encryption keyについて表示・編集		
		1. WEP key1	WEP key1の表示・編集	[64bit/ASCⅡ]:5文字 [128bit/ASCⅡ]:13文字 (英数字、半角記号) [64bit/HEX]:“0x”+10桁 [128bit/HEX]:“0x”+26桁 (数字、a～f、A～F)	(空欄)
		2. WEP key2	WEP key2の表示・編集		
		3. WEP key3	WEP key3の表示・編集		
		4. WEP key4	WEP key4の表示・編集		
	6. 802.1X		802.1X 設定に関する内容の表示・編集		
		1. Use 802.1X	802.1Xの使用有無の表示・選択	On、Off	Off
		2. EAP type	優先使用するEAP typeの表示・選択(Use 802.1Xが“On”のときに有効)	PEAP/MSCHAPv2、TTLS/PAP、TTLS/CHAP、TTLS/MSCHAPv2	PEAP/MSCHAPv2
		3. EAP username	EAPユーザー名(内側)の表示・編集(Use 802.1Xが“On”のときに有効)	半角16文字以内(英数字、半角記号)	(空欄)

項　目			内　容	設定範囲	初期値
		4. EAP password	EAPパスワードの表示・編集 (Use 802.1Xが"On"のときに有効)	半角15文字以内 (英数字、半角記号)	(空欄)
		5. Identity	EAP typeのユーザー名の表示・編集 (Use 802.1Xが"On"のときに有効)	半角16文字以内 (英数字、半角記号)	(空欄)
		6. Use root cert.	ルート証明書使用有無の表示・選択 (Use 802.1Xが"On"のときに有効)	On、Off	Off
		7. Root cert.	ルート証明書の表示・選択・削除 (Use 802.1Xが"On"かつUse root cert.も"On"のときに有効) 適用されている証明書は、タイトル部左端に"＊"が表示される 表示1行目：証明書配布先名 2行目：証明書配付元名 3行目：有効期限　開始年月日 4行目：有効期限　終了年月日	1～15件 (登録されている証明書のみ)	(未登録)
4. SIP setting			SIP設定に関する内容の表示・編集		
	1. SIP proxy meth		SIP Proxyで設定したIPアドレスまたはホスト名の適用の表示・選択	IP address、 Host name	IP address
	2. SIP proxy		SIP proxyのサーバ設定に関する内容の編集		
		1. IP address	SIP proxyサーバアドレスの表示・編集 (SIP proxy methが"IP address"のときに有効)	0.0.0.0～ 255.255.255.255	0.0.0.0
		2. Host name	SIP proxyのサーバ名の表示・編集 (SIP proxy methが"Host name"のときに有効)	半角63文字以内 (英数字、半角記号)	(空欄)
	3. User ID		SIPユーザIDの表示・編集	半角31文字以内 (英数字、半角記号)	(空欄)
	4. User password		SIPユーザパスワードの表示・編集	半角31文字以内 (英数字、半角記号)	(空欄)
	5. Phone No.		電話番号の表示・編集	半角28文字以内 (数字)	(空欄)
5. Advanced			ユーザ設定が必須ではない項目に関する内容を表示・編集		
	1. Register option		SIP登録動作に関する内容を表示・編集		
		1. User name	SIP-URIのuser部に設定するユーザ名を選択	Phone No.、 Auth ID	Phone No.
		2. Proxy port	接続対象となるSIP Proxyサーバのポート番号を表示・編集	1024～65535	5060
		3. Local port	自端末がSIP用に使用するポート番号を表示・編集	1024～65535	5060
		4. SIP ToS	SIP通信のToS指定の表示・編集	0～7	5
		5. Expire timer	SIP登録有効時間(秒)の表示・編集	300～28800	3600
		6. Retry timer	REGISTER失敗時のRetry周期(秒)の表示・編集	180～600	300
		7. Refresh	SIP再登録の残有効期間の割合(%)の表示・編集	30～70	50
		8. Expire first	レジスタ発行前にアンレジスタの発行有無を行う機能の表示・編集	On、Off	Off
	2. Phone option		電話機能に関する内容を表示・編集		
		1. Codec type	使用するCodec形式の表示・編集	G.711u、 G.711a、G.729a	G.711u
		2. Jitter buffer	ジッタバッファ容量(packet)の表示・編集	6～8	6
		3. Packet time	通話データをパケットで送信する間隔(ミリ秒)を表示・選択	10、20、30、 40、50、60	20
		4. T1xx timer	1xx応答許容時間(秒)の表示・編集	0～30	0
		5. T18x timer	18x応答許容時間(秒)の表示・編集	5～120	24
		6. Call timer	2xx応答許容時間(秒)の表示・編集	30～180	180
		7. Session timer	セッションタイマ設定時間(秒)の表示・編集	60～300	180

項　目			内　容	設定範囲	初期値
		8. RTP local port	自端末使用のRTP local portの表示・編集	1024～65535	5004
		9. RTP ToS	RTP通信のToS指定の表示・編集	0～7	5
		10. RTCP ToS	RTCP通信のToS指定の表示・編集	0～7	5
		11. RTCP interval	RTCP送信間隔設定(秒)の表示・編集	5～60	10
	3. Server option		SIP proxyサーバとの通信に関する内容を表示・編集		
		1. Call hold spec	保留/保留解除方式指定の表示・選択	RFC2543、RFC3261、Both	RFC2543
		2. Use regist	REGISTER動作指定の表示・選択	On、Off	On
		3. Use sessiontime	Session timer動作指定の表示・選択	On、Off	On
		4. Use PRACK	信頼性を持った暫定応答機能の動作指定の表示・選択	On、Off	Off
		5. Use update	セッションリフレッシュ方式の指定の表示・選択	On、Off	Off
		6. Use user param	“user=phone”パラメータの有無を表示・選択	On、Off	On
		7. Use UPnP	UPnP Control point機能の有効／無効の表示・選択	On、Off	Off
	4. Wireless option		無線LAN機能に関する内容を表示・編集		
		1. Basic rate	無線LANのベーシックレートの表示・選択	Auto(All)、Auto(1,2Mbps)、Auto(5.5,11M)、1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps	Auto(All)
		2. Holdover time	パワーマネージメントのホールドオーバー時間(ミリ秒)を表示・編集	10～100(10刻み)	100
		3. PW management	通話中のパワーマネージメントの有無の表示・選択	On、Off	On
		4. Beacon interval	ビーコン周期(ミリ秒)の表示・編集	100～3000(100刻み)	100

故障かな？と思ったら

まず、以下のことをご確認ください。それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

症　状	チェック
電源が入らない	● (☎)を1秒以上押してください。 ● 電池は正しく取り付けられていますか。 ● 電池は十分に充電されていますか。
電話がかけられない	● 電話番号が間違っていませんか。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか。 ● (☎)を押しましたか。 ● 機能ロックが設定されていませんか。ユーザー用暗証番号を入力して解除してください。
着信音が鳴らない	● 着信音が「着信音なし」に設定されていませんか。 ● マナーモードが設定されていませんか。
電話がかかってこない	● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか。 ● 電源を「OFF」にしていませんか。
充電ができない	● ACアダプタをコンセントに差し込んでいますか。 ● 充電端子は汚れていませんか。
電池を利用できる時間が短い	● 通常のご使用で利用時間が短い場合は電池の寿命です。新しい電池に交換してください。
相手の声が聞こえない	● 受話音量が最小になっていませんか。

エラーメッセージ一覧表

分　類	エラーメッセージ	内　容
電話帳	[電話帳] 該当するデータがありません	名前検索または電話番号検索の結果で、該当するデータがなかった。
	[電話帳] これ以上登録できません	電話帳データの最大登録件数を超えて、新規登録の操作をした。
	[電話帳] 電話番号が未登録です	電話帳のTEL1、2、3すべてが未登録のときに、発信しようとした。
着信／不在着信履歴	[着信履歴] 非通知のため登録できません	着信履歴画面で、「非通知」または「公衆電話」を電話帳に登録しようとした。
	[着信履歴] 非通知のため発信できません	着信履歴画面で、「非通知」または「公衆電話」のデータから発信しようとした。
	[不在着信履歴] 非通知のため登録できません	不在着信履歴画面で、「非通知」または「公衆電話」を電話帳に登録しようとした。
	[不在着信履歴] 非通知のため発信できません	不在着信履歴画面で、「非通知」または「公衆電話」のデータから発信しようとした。
文字入力	[入力エラー] 入力範囲 “最小値” – “最大値”	プロファイルの数値入力全画面で、登録可能範囲外の値を入力した。
	[入力エラー] 入力範囲 “最小値” – “最大値” step by “刻み値”	プロファイルの数値入力全画面で、登録可能範囲外／範囲内で刻み値以外の数値を入力した。
	[入力エラー] 入力範囲 ASCII 5 & 13byte	Encryption key 英数入力画面で、5byteまたは13byte以外の英数字(ASCII)を入力した。
	[入力エラー] 入力範囲 HEX 12 & 28byte	Encryption key 英数入力画面で、「0x」+10byte、または「0x」+26byte以外の16進数(HEX)を入力した。
	[入力エラー] HEXコードではありません	Encryption key 文字入力画面で、「0x」入力後に「0～9」および「a～f」以外の文字を入力した。
	[入力エラー] 文字を入力して下さい	プロファイルの数値入力画面で、範囲外かつ未入力時に確定操作をした。
暗証番号入力	[旧暗証番号] 暗証番号が違います	ユーザー用／管理者用の暗証番号設定で、旧暗証番号が不一致だった。
	[新暗証番号] 暗証番号が違います	ユーザー用／管理者用の暗証番号設定で、未入力、または3桁以下の入力で確定した。

分　類	エラーメッセージ	内　　容
暗証番号入力	[再入力] 暗証番号が違います	ユーザー用／管理者用の暗証番号設定で、新暗証番号が不一致だった。
	[機能ロック] 暗証番号が違います	機能ロック／機能ロック解除で、暗証番号が不一致だった。
	[初期化] 暗証番号が違います	初期化(本体機能、プロファイル、電話帳、発着信履歴)で、暗証番号が不一致だった。
	[管理者暗証番号] 暗証番号が違います	プロファイル編集を選択したとき、管理者暗証番号が不一致だった。
電話機能	[発信拒否] 通信中のため発信できません	通信中に電話帳や発着信履歴から発信しようとした。
	[発信拒否] 接続されていません	端末へのIPアドレス割り当て前に発信操作をした。
	[SIPサーバー] 電話機が未登録です	SIPサーバとのレジストレーションが完了する前に発信操作をした。
	[番号無し] “電話番号”または“名前”	かけた電話番号がSIPサーバーに登録されていなかった。
	[接続未了] 保留できません	相手端末間との障害発生時に、保留操作をした。
	[接続未了] 保留解除できません	相手端末間との障害発生時に、保留解除操作をした。
	[接続未了] 転送できません	相手端末との障害発生時に、転送操作をした。
	[サーバー接続] SIPサーバーとリンクできません	SIPサーバ障害発生時に、リンク接続ができなかった。
	[接続不能] IPアドレスが競合してます	同一ネットワーク内に自端末と同じIPアドレスの端末が存在する。
	[接続不能] 通信中IPが変更されました	DHCPの設定がOnで、かつ通話中に複数のアクセスポイント間移動前後で異なるIPアドレスが割り当てられた。
	[呼出] 応答がありませんでした	プロファイルのCall timerで設定した時間が経過しても、電話をかけた相手が応答しなかった。
	[着信拒否] 相手が着信を拒否しました	電話をかけた相手が着信を拒否した。
	[ビジー] 相手が通話中です	電話をかけた相手が通話中だった。
	[通信不能] 通信できませんでした	上記以外のエラー。
プロファイル	[証明書] 証明書がありません	ルート証明書またはクライアント証明書がない。
電源電源	[電圧低下] 充電してください	バッテリーレベルが「0」になった。

仕　　様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

名　　称	IP携帯電話機
形名	MWF-MS1
寸法 （幅×高さ×厚さ）	約48 ×約98 ×約26mm （折り畳み時）
質量	約98g（電池パック装着時）
使用電源	専用リチウムイオンバッテリー DC3.7V 820mAH
連続通話時間	約３時間
連続待受時間	約90時間
充電時間	約３時間

※ 連続通話時間、連続待受時間は使用条件によって変化しますので、この値よりも短くなることがあります。

お問い合わせ先

お買い求めの販売店へお問い合わせください。

製品保証規定

■ この製品保証規定は、保証書に記載した期間内において取扱説明書などに従って正常に使用したにもかかわらず故障が発生した場合に無償修理をさせていただきます。

■ 保証期間内の無償修理は、弊社まで故障品をお送りいただき修理完了品もしくは代替品をお客様に返送させていただきます。製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障品をご送付ください。送料は、送付元負担とさせていただきます。

■ 保証期間内にあっても下記の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理対応または代替品への交換サービスはご利用いただけます。

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続した他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 付属品などの消耗による交換
6. 製品保証書の提示がない場合
7. 製品保証書の所定事項の記入がない場合、または字句を不当に書き換えられている場合
8. 水濡れシールが反応している場合、または結露などにより腐食が発見された場合
9. 指定以外の電池パック、または充電器を使用したことによって生じた故障および損傷

■ 製品保証規定は、本製品についてのみの無償修理をお約束するものです
本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■ 製品保証書は、日本国内のみで有効です
This Warranty is valid only in Japan.

製品保証書

この製品保証書は、株式会社モバイル・テクニカが定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製　品　名	**MWF-MS1**
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日から　1年
ご 購 入 日	
販 売 店 印	

※ 本保証書にお買い求めの販売店の記名および押印がない場合は、有償扱いとなりますのであらかじめご了承ください。
※ 製造番号、ご購入日をご記入ください。

製品保証に関するお問い合わせ先：
お買い求めの販売店へお問い合わせください。

発行者　：株式会社モバイル・テクニカ
発行年月：2006年2月
版数　　：1.0版

株式会社モバイル・テクニカ